



TK WORKS

Beyond Steel

株主通信

第120期 中間報告書
2016.4.1 >>>>> 2016.9.30

CONTENTS

- ▶1 ひと目でわかる東洋鋼鋅
- ▶2 トップインタビュー
- ▶5 特集
- ▶7 当中間期のポイント／セグメント情報
- ▶8 連結財務諸表
- ▶9 トピックス
- ▶10 会社概要／株式の状況

東洋鋼鋅株式会社

証券コード：5453

鉄から広がる無限大“∞”

当社の製品は私たちの暮らしの身近なところで活躍しています。

“鉄”とともに歩み続けてきた東洋鋼鈑はこれまでさまざまな製品を世に送り出してきました。今日ではその伝統で培った、圧延、表面処理、ラミネートなどの技術をもとに“鉄”から“非鉄”や“樹脂”へと自らのフィールドを拡大しています。

缶用材料

- ラミネート鋼板
- ぶりき
- ティンフリースチール



食缶・インキ缶(ぶりき)



日本で民間初のぶりきメーカー

電気・電子部品材料 自動車・機械部品材料

- ニッケルめっき鋼板
- 電気亜鉛めっき鋼板
- 冷延鋼板



リチウムイオン電池(ニッケルトップ)

機能材料

- 磁気ディスク用アルミ基板
- 光学用機能フィルム



液晶テレビ、スマートフォン向けフィルム
(光学用機能フィルム)

機械関連

- 梱包資材用帯鋼
- 機械器具
- 硬質合金
- 自動車用プレス金型



自動車ボディサイドの金型
(自動車用プレス金型)

建築・家電用材料

- 樹脂化粧鋼板
- 銀鏡めっき金属板



ユニットバス壁材(ビニトップ)



代表取締役社長

隅田博彦

第120期中間報告書をお届けするにあたり、
代表取締役社長 隅田博彦へのインタビューを通して
当社グループの現状と今後の動向をご説明いたします。

鋼板関連事業の復調に手応え 業績の早期回復に努めます。

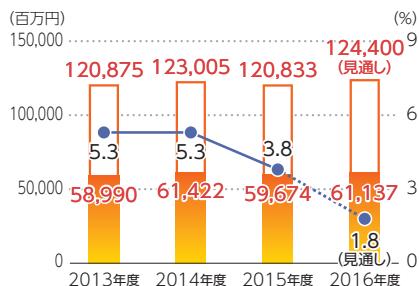
Q 当中間期の経営成績についてご解説ください。

A 増収ながら減益となりました。

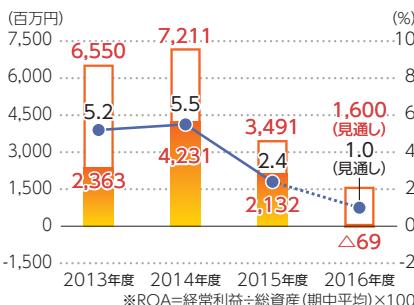
鉄鋼業界では、世界的な鋼材の需給緩和や内需の低迷が継続するなど、事業環境は厳しさを増しております。このような環境下、当社グループの当中間期の連結経営成績は、売上高611億37百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益5億32百万円(前年同期比80.3%減)、経常損失69百万円(前年同期は経常利益21億32百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失6億45百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益12億99百万円)となりました。

主力の鋼板関連事業では、ニッケルめっき鋼板の販

連結売上高／売上高営業利益率
■売上高(中間) □売上高(通期) ●売上高営業利益率(通期)



連結経常利益／ROA
■経常利益(中間) □経常利益(通期) ●ROA(通期)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益／1株当たり純利益
■親会社株主に帰属する四半期純利益(中間) □親会社株主に帰属する当期純利益(通期) ●1株当たり純利益(通期)



売が好調に推移したことや、コストダウン効果など営業利益の押し上げ要因がありましたが、機能材料関連事業における磁気ディスク用アルミ基板の高品質化に伴う生産性の低下による販売数量の減少や、機械関連事業における自動車用プレス金型の外注費用の増加などの影響により、業績予想の下方修正を余儀なくされました。



Q 業績回復への見通しと
通期業績予想についてお聞かせください。

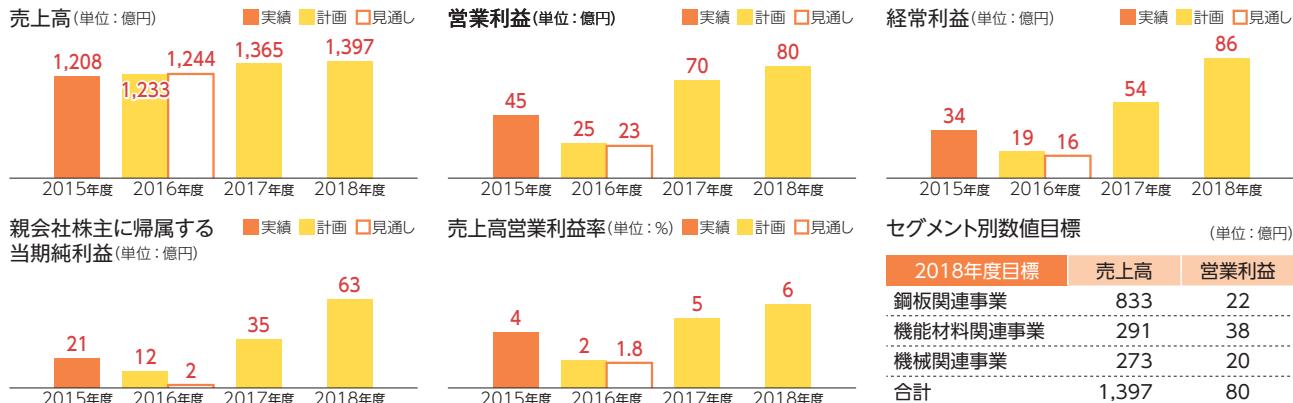
A 通期では黒字を
確保できる見通しです。

当期からスタートした中期経営計画「TK WORKS 2018」は、誠に遺憾ながら初年度の目標が未達となる見通しとなりましたが、今回の業績不振は一過性のものであり、今後はV字回復を実現できるものと考えております。

通期の連結業績は売上高1,244億円(前期比3.0%増)、営業利益23億円(前期比49.4%減)、経常利益16億円(前期比54.2%減)、親会社株主に帰属する当期純利益2億円(前期比90.7%減)となる見通しです。

鋼板関連事業では、電気自動車などに幅広く使われているリチウムイオンバッテリー向けのニッケルめっき鋼板の販売数量の増加が期待できるほか、缶用材料に

TK WORKS 2018 3ヶ年損益目標(連結)



ついても東南アジアでの販路拡大が進むなど、明るい材料が出てまいりました。トルコの合弁会社トスヤルトーヨー社は工場建屋がほぼ完成し、現在、製造設備の据付を急ピッチで進めており、稼働開始は2017年の3~4月頃となる見通しです。中東や欧州などにおける顧客開拓もあわせて、生産開始に向けた準備が着々と進んでおります。

機能材料関連事業では、磁気ディスク用アルミ基板の生産性が改善するとともに、光学用機能フィルムの需要にも回復の兆しが見えるなど、下期以降の収益回復が期待されます。

また、機械関連事業では、自動車用プレス金型の外注費用の増加が今期の大きな減益要因となっておりますが、受注や生産計画等をこれまで以上に厳格かつ適切に管理できる体制の構築を進めており、来期以降の収益への貢献を見据えております。

Q

株主の皆さまへメッセージをお願いいたします。

A

中期経営計画の目標達成に向けて引き続き全力で取り組みます。

当中間期の業績は当初の計画を下回る結果となりました。しかしながら、先ほども申し上げましたとおり今回の落ち込みは一過性のものであると考えており、引き続き「TK WORKS 2018」の数値目標達成に向けて各事業における諸施策の遂行に全力で取り組んでまいります。

なお、中間配当金は当初の予定通り1株当たり5円とさせていただきます。期末配当金につきましても5円とさせていただきます。予定に変更はございません。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともより一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしく願い申し上げます。

TK WORKS 2018

推進項目

鋼板関連事業

- トスヤルトーヨー社の確実な立ち上げと早期収益確保
- 原材料コストダウン、製造原価低減活動の強化
- 競争力のある表面処理製品の世界市場投入
- 車載用二次電池需要増に対応した生産能力増強

機械関連事業

- 海外展開を中心とした機器事業の拡大
- 富士テクニカ宮津とのシナジー実現

機能材料関連事業

【磁気ディスク事業】

- 独自技術開発による品質優位性の確立
- 生産プロセスの改善によるコストダウン推進

【フィルム事業】

- コスト競争力向上によるシェア拡大
- 現場改善活動による生産体制強化

新規事業

- DNAチップ事業の早期事業化



東洋鋼鋳グループの一員となりました 株式会社富士テクニカ宮津をご紹介します。

富士テクニカ宮津のあゆみ

富士テクニカ宮津は1957年に自動車ボディ用プレス金型製造メーカーとして富士鉄工所の社名で静岡県沼津市に誕生しました。2010年には、1950年に群馬県太田市で創業した同業の宮津製作所と統合し、世界トップクラスの自動車ボディ用プレス金型メーカーとなりました。

沿革	
1957年	会社設立
1967年	三島工場新設
1989年	伊豆長岡工場新設 商号を富士テクニカへ
1998年	株式を店頭登録
2004年	ジャスダック上場
2010年	宮津製作所統合
2011年	商号を富士テクニカ宮津へ
2016年	東洋鋼鋳の 100%子会社となる

プロフィール

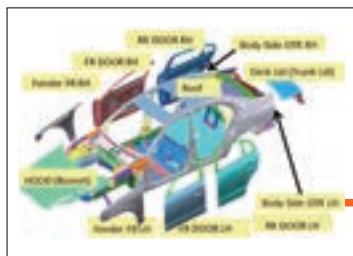
事業内容	自動車ボディ用プレス金型の製造・販売等
本社	静岡県駿東郡清水町市場20番地
設立	1957年2月6日
資本金	3,081百万円
従業員数	約500名
子会社	アメリカ、中国(2社)
関連会社	インドネシア、マレーシア、中国(2社)



富士テクニカ宮津の100%子会社化

富士テクニカ宮津は、2016年5月23日をもって東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)への上場廃止、同年5月26日に当社の100%子会社となりました。当社グループは同社を100%子会社化することで、今後も成長と技術革新が続くことが見込まれる自動車産業分野への事業拡大を図ってまいります。

● 自動車のボディ構成図と外板部品



自動車ボディ構成図にあるボディサイドの金型

業界におけるポジション

富士テクニカ宮津は、自動車の外板部品の金型を主体に手掛けています。この分野で競合する国内のメーカーは同社以外では2社のみで、売上規模では同社が3社合計のおよそ半分を占め、業界をリードしています。海外では中国、韓国、台湾、欧州などの金型メーカーと

競合していますが、高品質かつ高精度な金型を提供することにより、お客様から高い信頼をいただき、グローバルなフロントランナーとして認められています。売上高は海外向けが約80%を占め、自動車の世界最大市場である中国をはじめ、北米や欧州等に納入しています。

●大型機械

重量の重い金型を製作するため、大型の設備を多数保有しています。



〈左〉2,400t大型プレスライン
〈右〉高速形状加工マシン



トルコ事業の進捗



5基連続冷間圧延機



塗装ライン

トルコの合併会社トスヤル トーヨー社のオスマニエ工場では、2017年春の操業開始をめざし、冷間圧延ライン、焼鈍ライン、錫めっきライン、塗装ライン等の据付工事および試運転の準備を進めています。イスタンブール本社では、受注開始に備え、販売部門が日々トルコ国内や海外のお客様を訪問しています。最新鋭の設備と日本の優れた製造技術を併せ持つ同社には中東・欧州のお客様から大きな期待が寄せられています。引き続き同社の事業開発に向けて注力してまいります。

工場概要

生産品目	冷延鋼板、錫めっき鋼板、熔融亜鉛めっき鋼板、塗装鋼板
生産能力	82万t /年
主要設備	酸洗／冷延、焼鈍、電気錫めっき、熔融亜鉛めっき、塗装等
立地	トルコ共和国オスマニエ県オスマニエ工業団地

当中間期のポイント

POINT

▶ **売上高** 61,137 百万円
(前年同期比 2.5%増)

▶ **営業利益** 532 百万円
(前年同期比 80.3%減)

▶ **経常損失** 69 百万円
(前年同期は経常利益 2,132百万円)

▶ **親会社株主に帰属する四半期純損失** 645 百万円
(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益 1,299百万円)

POINT

1

売上高は、株式会社富士テクニカ宮津を連結子会社化したことにより前年同期に比べ増加。

POINT

2

営業利益は、機能材料関連事業の売上高の減少や、機械関連事業で自動車用プレス金型における外注費用の増加が影響したことなどにより前年同期に比べ減少。

POINT

3

営業利益の減少に伴い、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期に比べ減少。

セグメント情報

SEGMENT INFORMATION

銅板関連事業



事業内容

缶用材料、電気・電子部品、自動車・産業機械部品、建築・家電向け材料の製造および販売

事業の概況

- 缶用材料は、缶コーヒー用途の飲料缶材の販売数量が減少したが、その他の容器用販売が堅調に推移したことなどにより、売上高は前年同期並み。
- 電気・電子部品向けは、電池用途で民生用・車載用ともに販売数量が増加し、増収。
- 自動車・産業機械部品向けは、ガasket用途の販売数量が増加したが、ベアリングシール用途などが低迷し、減収。
- 建築・家電向けは、ユニットバス用内装材や冷蔵庫扉材などの販売数量が減少し、減収。



機能材料関連事業



事業内容

磁気ディスク用アルミ基板、光学用機能フィルムの製造および販売

事業の概況

- 磁気ディスク用アルミ基板は、高品質化に伴う生産性の低下による販売数量の減少や為替の影響などにより、減収。
- 光学用機能フィルムは、フラットパネルディスプレイ関連の市場の調整局面が続いたことなどにより、減収。



機械関連事業



事業内容

梱包資材用帯鋼、機械器具、硬質合金、自動車用プレス金型の製造および販売

事業の概況

- 梱包資材用帯鋼は、売上高は前年同期並み。
- 機械器具は、装置本体および部品ともに販売が低迷し、減収。
- 硬質合金は、射出成形機部品およびプラスチック金型の販売が低迷し、減収。
- 自動車用プレス金型は、出荷の時期ズレにより計画に比べ減収。



※ 2016年度より、報告セグメントを「その他事業」から「機械関連事業」に変更しております。

64.6%
40,171 百万円



売上高
構成比

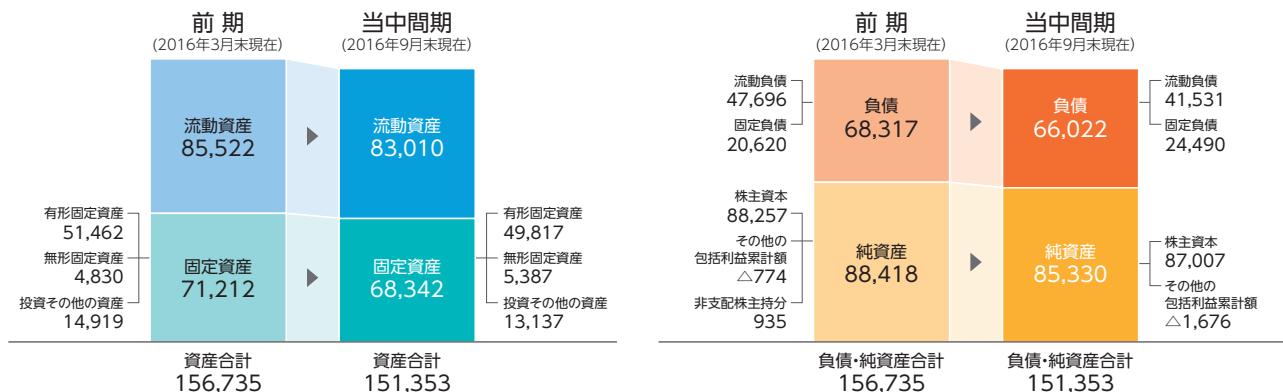
18.5%

11,546 百万円

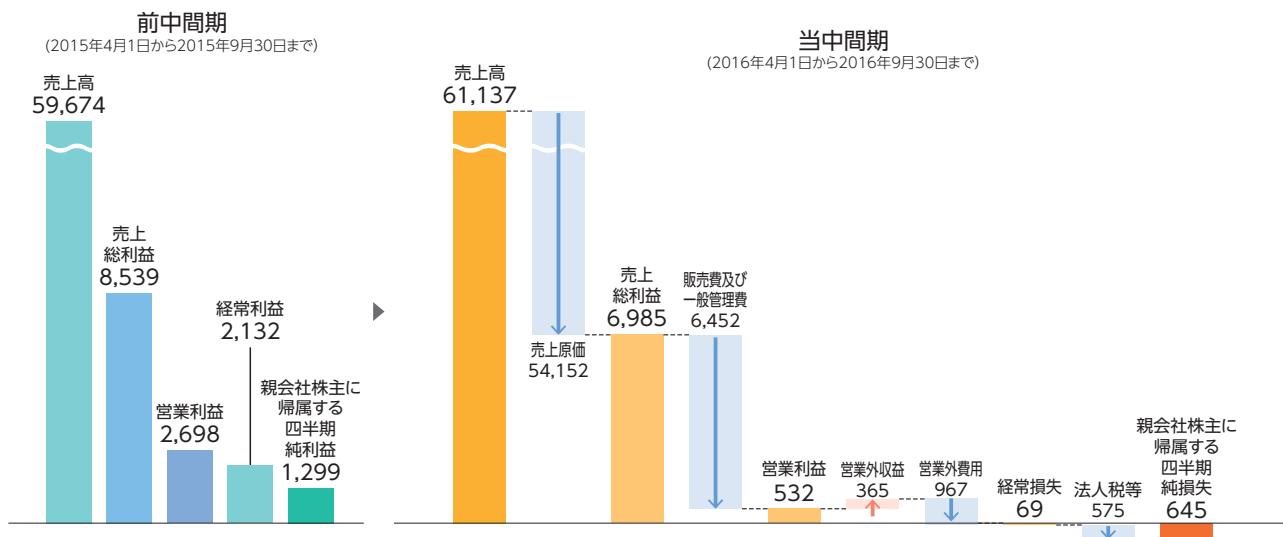
16.9%
10,498 百万円

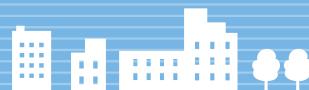
※各セグメントの売上高はセグメント間の取引による金額を含んでおります。

財務状況 (単位: 百万円)



経営成績 (単位: 百万円)





「DNAチップ遺伝子解析システム」の特設サイト公開。

当社ホームページに「DNAチップ遺伝子解析システム」の特設サイトを公開し、製品の特長や応用例の紹介をはじめました。特設サイトは順次更新し、研究開発や製品に関する最新の情報を発信してまいります。また、英語・中国語版も公開予定です。

<http://www.toyokohan.co.jp/ja/lifescience/system.html>

TOKYO PACK 2016に出展しました。

当社は、「TOKYO PACK 2016(会期:10月4日～7日 於:東京ビッグサイト)」に東洋製罐グループの一員として、製品のどこでも光窓や玄関ドア材などを出展しました。ブースには前回出展した2012年よりも多くの方々足を運んでいただきました。また、国内だけでなく海外からのお客様の姿も見られ、当社製品を広くアピールすることができました。



高機能金属展に出展しました。

当社は、「第3回高機能金属展(会期:4月6日～8日 於:東京ビッグサイト)」および「第3回関西高機能金属展(会期:10月5日～7日 於:インテックス大阪)」にそれぞれ出展しました。ブースには、ステンレスとアルミを組み合わせたクラッド材をさまざまな色や形に加工した意匠性の高いサンプルや、金属板に無電解の貴金属めっきを施したサンプルを展示し、多くのお客様に関心を持っていただきました。

会社概要／株式の状況 — CORPORATE PROFILE & STOCK INFORMATION

(2016年9月30日現在)

会社の概況

商号 東洋鋼鋳株式会社
 本社 東京都千代田区四番町2番地12
 設立 1934年4月11日
 資本金 50億4,000万円
 従業員数 2,820名(連結)
 事業所 本社(東京都)、大阪支店、仙台営業所、名古屋営業所、
 広島営業所、福岡営業所、技術研究所(山口県下松市)、
 下松事業所(山口県下松市)

役員 (2016年12月1日現在)

代表取締役社長	隅田 博彦	監査役	生田 章一
取締役専務執行役員	宮地 正文	監査役	大川 邦夫
取締役専務執行役員	辰巳 英之	専務執行役員	坂本 信夫
取締役常務執行役員	田辺 敏幸	執行役員	藤井 孝司
取締役常務執行役員	森賀 俊典	執行役員	長谷川 浩
取締役常務執行役員	中野 和則	執行役員	塩道 行正
取締役	林 芳郎	執行役員	大楽 高嗣
取締役	染谷 良	執行役員	清木 和浩
取締役	毎田 知正	執行役員	中村 琢司
常勤監査役	浪岡 貞之	執行役員	齋藤 雅宏
監査役	冲中 一郎		

東洋鋼鋳グループ

連結子会社 鋼鋳商事株式会社
 鋼鋳工業株式会社
 KYテクノロジー株式会社
 株式会社富士テクニカ宮津
 TOYO-MEMORY TECHNOLOGY
 SDN. BHD. (マレーシア)
 持分法適用関連会社 TOSYALI TOYO CELIK ANONIM
 SIRKETI (トルコ)
 非連結子会社 10社
 関連会社 6社

株式の状況

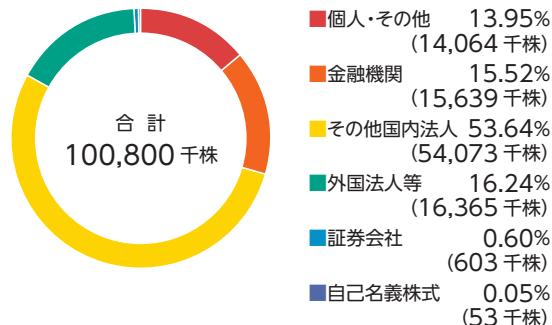
発行可能株式総数 403,200,000株
 発行済株式の総数 100,800,000株
 株主数 5,073名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
東洋製罐グループホールディングス株式会社	47,885	47.53
株式会社三井住友銀行	2,980	2.96
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT	2,393	2.38
公益財団法人東洋食品研究所	2,055	2.04
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	2,040	2.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,717	1.71
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,454	1.44
株式会社淀川製鋼所	1,429	1.42
株式会社山口銀行	1,316	1.31
新日鐵住金株式会社	1,200	1.19

(注)1. 持株比率は自己株式を除いて計算しております。
 2. 千株未満は切り捨て、小数点以下第3位は四捨五入しております。

所有者別株式分布状況



(注)千株未満は切り捨て、小数点以下第3位は四捨五入しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(インターネット) [http://www.smtb.jp/personal/](http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html)
(ホームページURL) [agency/index.html](http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html)

公告方法 電子公告
公告掲載URL
<http://www.toyokohan.co.jp>
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

お問合せ

証券口座で株式を保有している株主様	住所変更、買取請求その他お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
特別口座で株式を保有している株主様	住所変更、買取請求その他お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三井住友信託銀行株式会社)にお問合せください。

東洋鋼鉄株式会社

〒102-8447 東京都千代田区四番町2番地12
電話 (03) 5211-6211 (代表)
ホームページURL tkworks.jp



本冊子は環境保全のため
植物油インキで印刷しています。



ホームページのご案内

コーポレートサイト



当社のホームページでは、当社の製品を紹介する「身近な東洋鋼鉄」をはじめ、投資家の皆様向けのIR情報など、さまざまな情報を掲載しております。

tkworks.jp

IRサイト



IRサイトでは適時開示情報をはじめ、決算短信などの各種IR関連資料やIRトピックス、株価情報など最新の情報を提供しております。

<http://www.toyokohan.co.jp/ja/ir/index.html>